

みのりある修学旅行



5月8日から10日までの3日間、3年生は京都・奈良方面に修学旅行に行ってきました。天候にもめぐまれ、内容的にもとてもみのりのある修学旅行でした。

GWからの流れの修学旅行だったので、気持ち的には最高の日程でしたが、年度が始まってすぐだったため、先生も生徒も準備は忙しかったようです。でも主任の柳先生を始め3年の先生方は、「この生徒たちだったら大丈夫!」と信じていたと思います。

自分も3日間帯同させてもらいましたが、初日の動きを見て、「この子たちなら大丈夫!」と確信しました。

3年生の子たちは任せれば、自分たちでしっかり考えて行動できる子たちです。先生たちの指示も最小限で、基本、判断は生徒たちにあずけていました。失敗しても次はどうしたらいいかな?と考えさせるスタンスで。

で、この子たち、中学生らしく適度におちゃらけます。でも一線を越えずに自制がきくので、好印象です。

この子たちのこれからが楽しみだのと、心から思えた3日間でした。
(文責：山口)



おらせ

次号より、「おうなん」は紙での配布をやめて、「MINAMI TIMES」で閲覧していただく形にさせていただきます。

日	曜	行事・その他
1	土	郡総体バレー・テニス・バド・サッカー
2	日	郡総体バレー・テニス・サッカー
3	月	安全点検日
4	火	
5	水	集金日・2年ゲートキーパー講習会
6	木	1年SOSの出し方講習
7	金	
8	土	郡総体バスケ・バド・サッカー
9	日	郡総体バスケ・バド
10	月	職員会議・内科検診1年
11	火	
12	水	
13	木	貧血検査2年希望者
14	金	生徒総会5・6校時
15	土	郡総体 体操
16	日	
17	月	学年会議
18	火	1年心臓検診
19	水	学校計画訪問(前期)
20	木	
21	金	情報モラル講習会
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	期末テスト①
28	金	期末テスト②
29	土	
30	日	

自分で考えて、自分で決めて、 自分で動き出す！(群馬県教育ビジョン)

群馬県では、「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」をキャッチフレーズに、教師が子供たち自身の力を信じ、学びの転換を図ることで、変化の激しい社会を自分の力で歩いていける人を育てたいと考えています。

現状の課題として、

○子供たちの主体性や社会参画への意識が弱いとされるのは何故か？

○よかれとの思いから、失敗しないように先回りして与えすぎていた教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力を損なっていたのではないか？

○これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要な力は、どんなものなのか？

というようなことがあげられます。

そこで、子供たち自身の力を信じて、学びの転換を図りましょうということです。

一斉型の講義を受けるだけの
インプット中心の授業



自分で考えて決める学び
もちろん他者と協働しながら

こんなイメージです。

「こうしなさい」と導く指導をするのではなく、子供を信じて、失敗してもいいからと決断を任せる指導です。でも、これって学びの転換をするまでもなく、南中では先生も生徒もずっと前からやっていることだよなと感じたのは、自分だけではないと思います。

大人は長く生きてきた分、それまでの経験から、「こうしたらいいよ」って答えが見えてしまうので、子供が転ばないようにしつついってしまいがちですよね。でも、一番大事な「決断する」ことを大人がしてしまうと、子供たちは自分で判断することができなくなってしまいます。大人の言うことを聞いて、お行儀よくしていれば怒られない。親や先生の言うことはすべて正しいから言うとおりにしなくちゃいけない。そんな風に子供たちに思わせちゃったら、新しい価値観は生まれなないと思います。

とは言うものの、任せるのもどかしいですよ。そういう自分も4人の子供を育てながら、「こうすればうまくいくのに」って、余計な口出しをして、反発されたことが何度もありました。待ってられないんですよ。でも、問題を解決して乗り越えていく方法の一つではないし、遠回りをしたとしても最終的に前に進めればいんだと、割り切るようにしていました。時には親の自分には考えつかないような発想に驚かされることもありますしね。そして、いつかは年老いた自分を追い越していくんだろうなと思っています。

子供は親や先生の分身ではなく、一人の人格です。自分自身の人生を自分で決めて生きていくべきなのです。だから子供の力を信じたいと思います。そして子供たちには幸せな人生を楽しんでもらい、誰もが幸せな未来の社会を築いてもらいたいと思っています。(文責：山口)

※今回は、保護者向けに書きましたが、生徒のみなさんは、「子供たち」の部分「自分」に置き換えると、自分事として考えられるのではないかと思います。

